

自治会員各位

2025年5月1日
萩原町自治会長 細谷菜穂子

令和7年度 萩原町自治会 定期総会議事録

4月13日に表記会議が開催されました。以下、結果をご報告します。
また、末尾に当日配布した資料を添付します。

令和7年度定期総会結果

- 1 開催年月日 2025年4月13日（日）10:00～10:50
- 2 開催場所 萩原町集会所
- 3 会員総数 322名（2025年3月末現在）
- 4 出席者総数 246名

【内訳】出席：58名（うち役員6名）、委任状出席：188名

総会の成立条件である会員総数の過半数を満たす。

5 議事

議長：自治会顧問・目黒善雄氏

議案	タイトル	結果	備考
議案1	令和6年度活動報告	可決	
議案2	令和6年度決算報告	可決	
議案3	令和6年度監査報告	可決	
議案4-1	令和7年度活動方針（案）	可決	（案）を削除する
議案4-2	令和7年度予算（案）	可決	
議案5	役員改選	可決	役員一覧は最終頁に

以下、各議案に対する説明の要点及び主な質疑応答

議案1 令和6年度活動報告（説明者：柳瀬副会長、飯澤副会長）

1.自治会活動の活性化

(ア)-a. 集会所の耐震化工事

災害発生時には萩原町集会所を萩原小学校と併せて防災拠点として活用する予定であるが、本建物は昭和50年（1975年）に建設されており、昭和56年の建築基準法大改正後の新耐震基準（昭和56年6月1日以降）である「震度6強に達する程度の地震で倒壊・崩壊しないこと」を満たしていなかった。令和6年度の定期総会で上の新耐震基準を満たす強度にするための工

事 ― 広間のみを補強する計画（2,948,000 円の見積り額） ― で実行することが承認されたので 5 月に耐震化工事を実施した。支払額は 2,968,050 円（税込 3,264,855 円）であった。

(ア)-b. 防災会活動

本年度実施した活動は直前に行われた防災会総会で詳しく説明したので、それ以外の項目のみとする。（添付総会資料を参照のこと）

11/17(日) 13:00～14:10 秋の防災パトロール： 役員 2 名、班長 2 名、防災ボランティア 2 名と参加者が少なかったため 1 丁目のみのパトロールとした。12/25(土)11:00～12:00 残りの 2～3 丁目を役員で行った。

2. 民生・福祉活動の推進

・避難行動要支援者名簿作成に関し、町内在住の非会員にも案内し、全戸のアンケートを行った。自力避難不可能との回答は 7 名で、情報開示可の人は 7 名であった。6/30 の防災ボランティア/防災サポーター研修で名簿を共有化し、今後の進め方について協議した。最新の名簿では 19 名が要支援者として載っており、要支援者の意向調査の実施および災害発生時に誰がどのように対応するのかを該当する防災サポーター（班長）とボランティアを含めて打合せを来年度も継続して実施する。

3. 町内の親睦・地域文化活動の助成

「萩原町ふれあいまつり」を開催した。各団体の代表を実行委員として、6/15、7/21、8/25、10/6 の 4 回実行委員会を開催し、10 月 13 日開催に向けて準備を行った。当日は子ども 27 名（昨年 16 名）、全体 80 名（同 60 名）の参加があった。町内住民による演芸発表や輪投げ、外部講師を呼んでの折り紙教室、外部から演者を招いてのシャボン玉演技と大道芸など 10 時から 16 時ごろまで大いに盛り上がった。今年は綿菓子とポップコーンの提供を行い、好評であった。今後もこの活動を継続して町民の交流を活発にし、災害時の援助などが円滑に進められるようにするためのきっかけにしたい。来年度からはもう少し多くの班長さんにも参加して頂きたい。

表 1.令和 6 年度 活動記録（表） 町内の年度中の会員数動向は入会が 10 戸、退会が 8 戸で 2 戸増の 322 戸となった。

議案 2 令和 6 年度 決算報告（説明者：井上会計担当役員）

自治会費会計では収入総額 1,143,397 円、支出総額 937,718 円、差引残額 205,679 円となった。民生関係の収入で車椅子・安否確認用の黄色いタオルなどの防災資材に対して市から整備補助金 57,000 円が補助された。

集会所建設基金特別会計から集会所の耐震化工事に 3,264,855 円を支払ったため、年度末残高は 6,251,133 円となった。

議案 3 令和 6 年度会計監査報告（説明者：堀岡監査役）

自治会及び集会所に関する会計帳簿、証拠書類、預金通帳を照合したところ、経理事務処理の全般について適正であると認められた。

議案 4 令和 7 年度活動計画（案）（説明者：柳瀬副会長）

4-1：例年と同様、自治会活動の活性化、民生・福祉活動の推進、町内の親睦・地域文化活動の助成に努めていくが、今年度新たな取り組みとして次の 2 つをその中に組み入れた。住民への情報提供を促進するために新たに北公園に掲示板を新設する（費用 140,000 円を計上）。一般コミュニティ助成事業に採択されたので最大 250 万円までの設備・機器購入に対し助成金が得られる。集会所の広間のエアコン、折りたたみ椅子、冷蔵庫、電子レンジ、掃除機、草刈機などの購入を計画している。助成金は 10 万円以下は切り捨てとなるため（249 万円分を購入した場合は助成されるのは 240 万円）、助成金をフルに活用するために超過分 3 万円を計上した。

また「萩原町ふれあいまつり」は継続実施し住民の親睦を図る。

4-2：4-1「活動方針」の実行に必要な支出（萩原町ふれあいまつり：10 万円、草刈りたいへの補助として 2 万円）を盛り込んだ。

議案 5 役員改選（説明者：柳瀬副会長）

令和 7 年度役員

会長	：	細谷菜穂子（2 期中）
副会長	：	<u>飯澤かおる（2 期目）</u> 、柳瀬勇次（2 期中）
会計担当役員	：	井上仁志（3 期中）
会計監査	：	<u>黒田可朝（2 期目）</u> 、堀岡 良太（1 期目）
下線の 2 名が改選であるが、承認された。		
顧問	：	目黒善雄（2 期目）

【質疑応答】

- ① 一般コミュニティ助成で折りたたみ椅子を購入予定と聞いたが、今の椅子は購入後 50 年経っていて、お尻も痛いので座りやすいものを希望する（1 丁目藤崎様）
 - ①A ➡すでに型は決めてあり、収納場所のことも考えて折りたたみ椅子にしてある。ただ、従来のものは重くて取り扱いにくかったので軽量のものを考えている。
- ② 草刈機を購入予定との説明だったが、長寿会でグラウンドゴルフに使っている交通公園は本来は市が管理するという話であるが、実際には自分たちで草刈り

をしている。労力的にもきつい作業で、燃料代のために長寿会費として集めているお金にほとんどが出ていく。再度、交通公園管理の責任の範囲を明確にしてもらいたい。

①➡以前そのような話があったので市に確認している。交通公園は市が管理する責任があり、実際の管理業務はシルバー人材センターに委託している。今の質問のような状況であれば、きちんと責務を果たすように再度話しておく。